

2021年度 学校関係者評価報告書

1. 目的

自己点検・自己評価の結果を学校関係者評価委員会に報告し、指導・助言を得て、教育活動及び学校運営に活用する

2. 参加者（敬称略）

・委員会役員

委員長	前島 良弘	本校非常勤講師/看護系学校受験専門塾 啓学館代表
委員	鳥井元 純子	美原看護専門学校 学校長/大阪府看護学校協議会 会長
委員	水川 登志雄	守口市立さつき学園 校長
委員	山口 美裕紀	松下記念病院 看護部長
委員	角免 真由子	本校卒業生/松下記念病院 師長

- ・ 学校長：村田 博昭
- ・ 副学校長：水方 智子
- ・ 教員：大谷 弘恵（教務主任）、山之内 由美（教務主任）、坂本 鈴子、木村 緑、
生野 恭子、恩地 瞳、中野 珠枝、小林 美穂、新名 未希
- ・ 事務員：増尾 貴世子、石川 澄枝

3. 開催日時と内容

第1回：2022年1月19日(水)16:00～17:00（オンライン開催）

- ① 参加者自己紹介
- ② 事務局（水方副学校長）から委員会設置の経緯と運営規定の説明
- ③ 委員長の選任とその承認
- ④ 委員長挨拶
- ⑤ 今後の学校評価についての意見交換
- ⑥ 学校長挨拶

第2回：2022年3月17日(木)

- ① 施設見学
- ② 自己点検・自己評価資料の確認と質疑応答

4. 学校関係者評価 総括

2021年度【重点目標・計画】は、ほぼ達成できていることが確認された。今後は、18歳人口の減少に伴う入学生の確保対策を発展させることと、教職員の約半数が5年以内に60歳の定年退職を迎えるため、教職員の確保・資質向上に伴う教育の質の確保が重要となる。

自己点検・自己評価項目では、ほぼすべての内容においてパナソニック健康保険組合の規定に基づき、適正に運営がされている。

教育カリキュラムは、2022年度の指定規則の改正に先立ち、2019年度から新たなカリキュラムの運用をされている。地域住民の健康を守り、地域で療養できる環境を作るという最先端の教育課程の構築は、他校のモデルとしても示されている¹⁾。しかし、コロナ禍で臨地実習が制限されたことにより、「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」においては、半分以上の学生が到達できていない項目もあり、より一層の卒後教育との連携が求められる。今後も引き続き、100%に近い看護師国家試験合格率の維持、看護実践力のある卒業生の育成の実現に尽力してもらいたい。

学校運営は、学務会議、学校運営会議、教務会議などが適切に実施されており、問題は見当たらない。

教育活動は、学生自身の主体的な活動を支える授業(実習)設計などが魅力的であり、「自分で自分を育てる人になる」といった独自の教育方針が示されている。また、2021年度から看護教員にもラダー制度が導入され、教員自身も成長することが求められている。

重点目標でも課題となっている入学生の確保は、①学校宣伝(オープンキャンパス、母体病院と連携した広報等)の広報活動、②入試実績の整理(募集方法の検討、受験生、合格者及び入学者の成績の管理)がされており、一定数の受験倍率も維持出来ているが、さらなる受験生確保に向けて取り組まれている。

社会貢献・地域活動は、守口市で唯一の看護専門学校として、地域の人々の健康を守ることは大きな役割である。新カリキュラムでも構築された授業や近隣学校へのボランティア、学内に近隣の方を招いて模擬患者をしていただく等、今後もさらに充実されることを期待している。

参考文献

1) 令和元年度厚生労働省看護職員確保対策特別事業「看護師等養成所におけるカリキュラム改正支援事業」カリキュラム編成ガイドライン及び地域・在宅看護論の教育内容、一般社団法人日本看護学校協議会、令和2年5月、P42～P48